



お元気ですか！
志村 たかよし です

第725号 2015年1月11日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

銀座の真上に送迎用ヘリコプターの飛行ルート

爆音・振動・事故の危険…整備計画は撤回を

反対運動の先頭に立つ 銀座通り連合会

低空で飛行するヘリコプターの爆音がとどろく銀座の空…。

救助ヘリや報道ヘリならまだしも、ホテル宿泊客のために、1日当たり5往復（10回の離着陸）する送迎ヘリを、成田から有楽町まで中央区内を通過して飛ばす計画が問題になっています。

そのホテルの名は「ザ・ペニンシュラ東京」。三菱地所が所有し、香港の富豪が運営するホテルです。ホテルの屋上（112m）に非公共用ヘリポートを整備し、成田空港とホテルの間をシコルスキー式S76ヘリコプターでお客を運ぶというのです。



ザ・ペニンシュラ東京の概要

運営…香港&上海ホテルズ
所有者…三菱地所
階数…地下4階 - 地上24階
部屋数…314室
開業…2007年9月1日
所在地…千代田区有楽町1-8-1

07年のホテル竣工時から屋上ヘリポートや豪華待合室などは完成していましたが、当時は消防庁の緊急時離着陸ヘリポートとしての使用でした。今回は富裕層宿泊客などの乗客輸送用ヘリポートに用途変更を行うというのです。

この計画の撤回を求めて、昨年7月に銀座通り連合会や泰明小学校のPTAが立ち上がり、すでに署名を1万筆以上集めています。昨年12月19日には、銀座通り連合会の役員のみなさんが区役所を訪れ、区長と区議会に「計画を中止させるために協力してほしい」との要請がありました。

私は、その席で「ヘリコプターによる被害は、銀座だけでなく区内の広い範囲に及びます。『オーラル中央区』でたたかきましょう」と激励しました。

要請を受け、区長・議長連名の「（仮称）ザ・ペニンシュラ東京ヘリポート整備事業の撤回を求める要望書」が、株式会社ペニンシュラ東京と国土交通大臣に届けられました。

「要望書」はこの事業に対して地域の理解が得られておらず、反対の強い意思表示がある。「飛行ルートが世界有数の繁華街である銀座の上空にあり、騒音や事故など安全・安心に大きな影響を及ぼす」「ヘリポート近傍にある泰明小学校・幼稚園の教育環境の悪化への懸念が大きい」という理由で「整備事業」の撤回を求めています。

沖縄新基地建設反対や大型輸送ヘリ「オスプレイ」飛行反対のような大きな取り組みになる可能性があります。そうなれば計画を中止に追い込むことができるでしょう。

ホテル送迎用ヘリコプターの飛行ルート

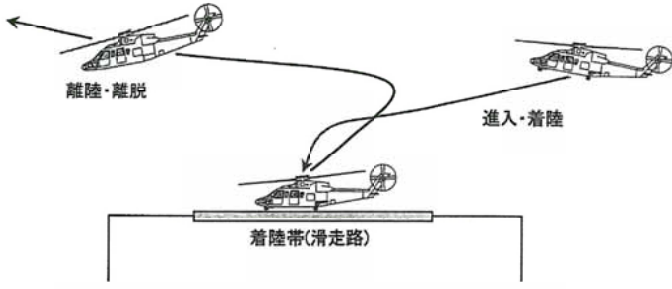
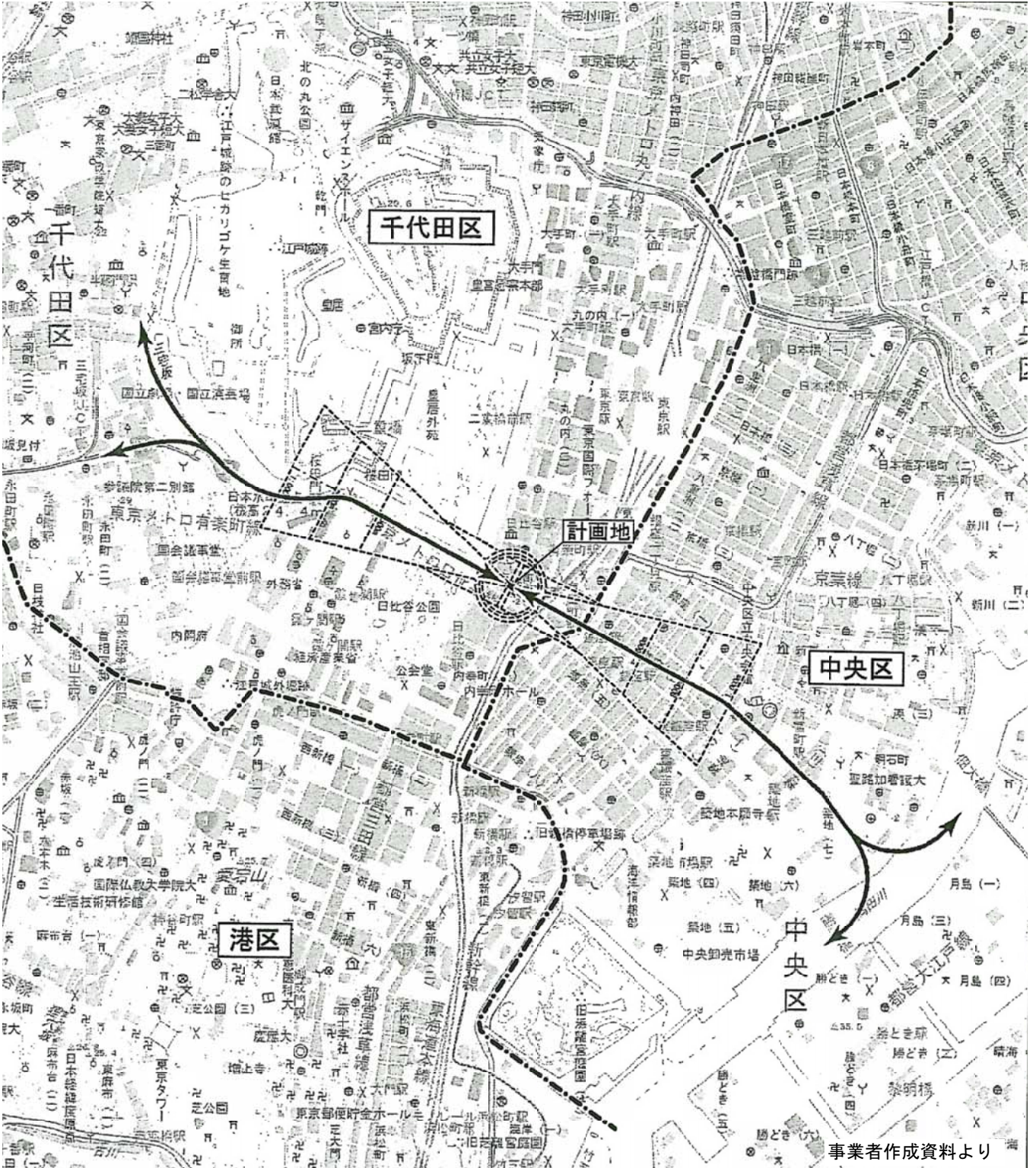


図 4-8 計画ヘリポートでのヘリコプターの飛行パターン

成田とホテルを結ぶ送迎用ヘリコプターの飛行ルート(下図)は、勝どき、月島、佃、明石町、築地、銀座、千代田区側は皇居の内堀に沿うように計画されています。

進入・着陸、離陸・離脱(左図)のために、ヘリポート近くでは低空飛行にならざるを得ません。地図で見ると銀座4丁目交差点の真上を低空飛行することになります。



事業者作成資料より